

「トウ・ザ・ライト・エンディング」

大久保 佑馬

あらすじ

演出家助手の喜田健治（25）は、舞台『トウ・ザ・ライ
ト・エンディング』千秋楽の舞台裏で想いをよせる主演女優の
矢内真依子（25）に手紙で思いを伝えようとするが、主演俳
優の花岡翔平（27）と付き合っていることを知り断念。そん
な時、恋敵役の石垣渉（29）が出演直前に体調不良で倒れて
しまう。舞台の脚本は頭に入っている喜田は、演出家の塚田の
咄嗟の判断で舞台上に蹴り出され、急遽代役として舞台に出演
することになる。喜田がうまく代役をこなせるはずもなく舞台
は本来のストーリーとは全く違うものへ変化していく。

そんな中、花岡の浮気相手である篠田奈々（27）が舞台を
見に来る。花岡の浮気の実事を知った喜田は真依子の事を諦め
きれなくなり、舞台の中で真依子を花岡から奪おうとする。普
段から誰にも予想できない舞台を作りたがっていた演出家の塚
田（52）も喜田の行動を面白いと思って応援することにし、
本来恋敵である喜田の役を主人公に、本来主人公である花岡の
役を悪役に仕立て上げる演出作戦がスタートする。

台本とは全く違う流れに真依子は戸惑うが、即興で演じてい
くうちに花岡が浮気をしていた事実や喜田の純粹な恋心に気付
き、舞台上で演技ではないリアルな反応を見せていく。一方で
悪役に仕立て上げられた花岡は焦って、真依子と喜田の仲を裂
こうと邪魔を繰り返すが、それを乗り越えていく度に真依子の
気持ちは喜田へと傾いていく。

登場人物

喜田健治 (25) A D・演出家志望

矢内真依子 (25) 主演女優 (青野司咲役)

花岡祥平 (27) 主演俳優 (細川和雄役)

塚田幸助 (52) 監督・演出家

榎島伸二郎 (38) 脚本家

篠田奈々 (27) 花岡の浮気相手

石垣渉 (29) 助演俳優 (三宅聡役)

隣の席の初老

刑事役俳優

町人役

子役

女性スタッフ 1

女性スタッフ 2

女性スタッフ 3

男性スタッフ

榎 塚 榎 塚 喜 喜 喜 ○
島 さ 事 田 て 度 れ 島 時 客 の 田 田 こ 吹 田 演 そ く 受 は タ 人 で の い そ ン 田 演 劇
「 な で 「 い 予 と 「 間 を は 「 塚 喜 塚 る 喜 か せ 「 そ 喜 界 て 単 す よ フ に そ 末 ° 希 は ° 舞 喜 の せ ー 劇
分 い し そ う 想 い 難 を 引 も い 郎 塚 喜 塚 田 ° 田 田 ° 塚 田 ° 田 ° 塚 田 ° 田 ° 塚 田 ° 田 ° 塚 田 °
か と よ こ と さ う し 与 っ っ や 〔 田 田 ° 田 ° 田 ° 田 ° 田 ° 田 ° 田 ° 田 ° 田 ° 田 ° 田 ° 田 ° 田 ° 田 °
っ 全 ° で こ れ か い え 張 と ` 3 は ` さ ` 俺 演 お に ` 新 は で も ん 員 動 あ は 望 戦 男 台 田 中 し ル
て 員 も 予 も ま ` で な っ こ 違 8 炭 塚 田 ° 塚 田 ° 幸 助 は 望 俺 ギ 運 を 安 想 の 凝 っ ぽ く な っ て し ま っ た ° な
ま 食 う 想 あ す 最 す い て う う 〓 酸 塚 田 ° 炭 田 ° 幸 助 は 望 俺 ギ 運 を 安 想 の 凝 っ ぽ く な っ て し ま っ た ° な
す い 次 で る か 近 よ ? い 動 ん に 水 に 炭 酸 水 買 っ て す き ま し た 「 田 健 治 だ ° を
よ っ 回 き と ら の ね そ く き が よ す ° け 取 っ て ` ° 榎 島 伸 二
「 ぱ の な 思 ね 客 ー 舞 台 だ 観 客 的 現 象 だ ね 〓 田 健 治 だ ° を
れ 台 話 だ 向 け だ 〓 舞 台 だ 観 客 的 現 象 だ ね 〓 田 健 治 だ ° を
ぞ 向 け だ 〓 舞 台 だ 観 客 的 現 象 だ ね 〓 田 健 治 だ ° を
「 け だ 〓 舞 台 だ 観 客 的 現 象 だ ね 〓 田 健 治 だ ° を
て が 〓 舞 台 だ 観 客 的 現 象 だ ね 〓 田 健 治 だ ° を
動 〓 舞 台 だ 観 客 的 現 象 だ ね 〓 田 健 治 だ ° を
き 〓 舞 台 だ 観 客 的 現 象 だ ね 〓 田 健 治 だ ° を
出 〓 舞 台 だ 観 客 的 現 象 だ ね 〓 田 健 治 だ ° を

女性 喜田 喜田 喜田 喜田
 産 ス ッ プ 1 後ろから肩を叩かれ振り向く。
 喜田「あ、はい」

喜田「あ、はい」紙袋を取って楽屋
 通路上には千秋楽を祝うお花が並んでい
 る。喜田「石垣涉様」と張り紙がされた
 楽屋の前まで来る喜田。
 扉をノックする喜田。

○同・石垣の楽屋内（夜）
 石垣「ソファに寝ている石垣涉（29）。

喜田「声」失礼します」
 扉が開き喜田が入ってくる。

喜田「石垣さん分前です。あとこれ、今日
 届いたフアンレターです。」目を瞑ったまま、

石垣「そこは調理台が一つをそつと机の上に置
 喜田「紙袋の」

喜田「喜田」
 喜田「喜田」

喜田「喜田」
 喜田「喜田」

石垣「おさうが。ハッとするように目を開いて起
 き上がる。ハッとするように目を開いて起
 喜田「喜田」

○同・楽屋通路（夜）
 石垣の扉を閉めて、軽く深呼吸

に「矢張り紙のある楽屋へ歩く。
 緊張したような表情で次の楽屋へ歩く。
 矢張り紙のある楽屋へ歩く。

○ 同・真依子の楽屋前（夜）

真依子「喜田、楽屋を出て扉を閉める。」
 喜田「おっぱい、楽屋の扉を開けて、」
 真依子「お願い、あ。じゃあ、今日もよろしくお願ひ、ます。」
 喜田「私、全然口でもよかったです。」
 真依子「私の立場は、違うよ。キヤストとアシスタントの場は、全然口でもよかったです。」
 喜田「おっぱい、楽屋を出て扉を閉める。」
 真依子「お願い、あ。じゃあ、今日もよろしくお願ひ、ます。」
 喜田「私、全然口でもよかったです。」
 真依子「私の立場は、違うよ。キヤストとアシスタントの場は、全然口でもよかったです。」

○ 同・真依子の楽屋前（夜）
 喜田「おっぱい、楽屋を出て扉を閉める。」
 真依子「お願い、あ。じゃあ、今日もよろしくお願ひ、ます。」
 喜田「私、全然口でもよかったです。」
 真依子「私の立場は、違うよ。キヤストとアシスタントの場は、全然口でもよかったです。」

花 喜 花 喜 花 喜 花 喜 花 喜 花 喜 花 喜 花 喜 花 喜 花 喜
 なさ岡 よン う岡 手田 っ翔 えで こ岡 田 よン 岡 田 と岡 田 る観 岡 田 岡 田 岡 田 同
 方ん ー °が に ー に ー ー 「て 平だ 舞と ー ー ！デ ー ー 真 ー ー ーん 客 ー ー ー ー 同
 がも書 花 ほあ すい しへ な ！撃 ！上り ？き 然 ー ー ーん 客 ー ー ー ー 同
 い満 い岡 らるる いた 慌！ 結明 ！に ポう か っす と グ！ ？ 付 ー ー ー ー 同
 だ °き ポ ？ °そ 最 °さ う 主 は ー ？ 月 っす てる 喜 田 ° ー ー ー ー 同
 る舞 たケ ？ °こ 後話 は怒 ー ？ 舞 聞し げら い っか ー ー ー ー 同
 ？ 台ん ツ そ ち俺 やま ー ？ 舞 聞し げら い っか ー ー ー ー 同
 ー は少 し °で 監 督 もド ラマ チ ー おク
 ー 少 し °で 監 督 もド ラマ チ ー おク
 ー 少 し °で 監 督 もド ラマ チ ー おク

分に腕の屋に連れ込む°を気にしなからず自喜が
 花岡の腕の屋に連れ込む°を気にしなからず自喜が
 花岡の腕の屋に連れ込む°を気にしなからず自喜が
 花岡の腕の屋に連れ込む°を気にしなからず自喜が

榎島「無事に終わったから、今日は行きましょ。榎島。」

○同・舞台裏（夜）
音が出ないようにつくりと扉を閉める。後ろをスタッフが通り過ぎる。

○同・真依子の楽屋内（夜）
慌てるように紙袋を見つけて中を探る。自分の手紙を取り出しポケットに入れ

○同・舞台裏トイレ前（夜）
顔を出して廊下の様子を探る。ソワソワと真依子の楽屋に向かう。喜田「おれ、紙袋を差し出す。じゃあよろし

○同・舞台裏トイレ前（夜）
喜田「落ち着かない様子でウロウロする喜田。」
喜田「ちよつと待ってえ、どういう顔面蒼白？」

喜田「いや：：」
喜田「これ、フアンレターです。じゃあよろし

塚 ○ 喜田の回想はじめ
 田 稽古場の剣な表情で稽古を行う
 ね 「真剣な荒げ観客全員がお前らを見てんか
 え 「声だよ。観客全員がお前らを見てんか
 笑顔を司咲を見つめる喜田。司咲。

和 雄 「お雄！紙を取
 り上げて！乱暴り返そうとして
 そ 「焦つて！これが！な！机の上
 何もないぞ。前にはちやんと卒業
 か？実業団の前にはちやんと卒業
 和 雄 「その実業団の前にはちやんと卒業
 聡 「何もないぞ。前にはちやんと卒業
 和 雄 「その実業団の前にはちやんと卒業
 聡 「何もないぞ。前にはちやんと卒業

司 咲 「げまっはにかんでそ
 操 「選手ごじやない！マフ
 業 「それよ。お祝い！聡さん
 聡 「腰かけよ。昨日の競技会
 和 雄 「お勉強でか。ど
 聡 「はにかん、ど。優勝お
 司 咲 「聡！石垣、入ってく
 司 咲 「聡！石垣、入ってく

和 雄 「お勉強でか。ど。優勝お
 聡 「はにかん、ど。優勝お
 司 咲 「聡！石垣、入ってく
 司 咲 「聡！石垣、入ってく

和 雄 「お勉強でか。ど。優勝お
 聡 「はにかん、ど。優勝お
 司 咲 「聡！石垣、入ってく
 司 咲 「聡！石垣、入ってく

喜	真	真	喜	真	喜	真	○	喜	塚	喜	塚	喜	塚	喜	塚	花	真	塚	花	真	て	だ	
よ	田	依	子	依	子	依	同	田	よ	ん	田	田	田	田	田	か	田	岡	依	田	岡	依	て
°	「	子	子	「	子	「	・	「	！	ね	「	「	「	「	「	よ	「	子	「	「	子	魅	
主	い	「	真	「	お	「	外	見	す	え	お	す	：	ド	「	「	ち	塚	は	「	動	：	
演	や	喜	依	「	ぎ	「	人	て	い	めん	前	か	：	キ	「	「	よ	田	「	「	け	：	
な	い	田	子	「	こ	「	階	見	ま	だ	が	さ	す	ツ	「	「	つ	、	「	「	よ	「	
ん	や	く	「	「	ち	「	段	ぬ	せ	じ	ろ	そ	ず	と	「	「	と	深	「	「	！	「	
で	°	ん	喜	「	い	「	に	ふ	ん	や	う	ん	喜	ま	「	「	昼	く	「	「	心	「	
す	大	も	田	「	く	「	腰	り	：	ね	が	な	田	せ	「	「	い	息	「	「	「	「	
か	変	大	の	「	い	「	か	を	：	え	！	だ	に	°	「	「	れ	を	「	「	も	「	
ら	な	変	隣	「	お	「	け	す	「	！	ち	か	蹴	忘	「	「	よ	吐	「	「	「	「	
「	の	だ	に	「	疲	「	て	る	「	「	ら	り	を	れ	「	「	う	い	「	「	「	「	
	は	ね	腰	「	れ	「	休	劇	「	ム	で	の	入	て	「	「	°	て	「	「	「	「	
	真	「	か	「	「	「	憩	団	「	で	の	れ	ま	「	「	「	喜	「	「	「	「	「	
	依	「	け	「	「	「	を	員	「	や	志	る	塚	「	「	田	「	「	「	「	「	「	
	子	「	さ	「	「	「	し	た	「	っ	気	も	田	「	「	「	喜	「	「	「	「	「	
	さん	「	で	「	「	「	て	ち	「	て	ん	上	°	「	「	「	田	「	「	「	「	「	
	で	「	し	「	「	「	い	°	「	だ	が	「	「	「	「	「	ま	「	「	「	「	「	
	し	「		「	「	「	る	喜	「	が							だ						

○へ回想 喜田の部屋（夜）

机に向かっ
隣には『真依子さんへ』と書く喜田の封筒。

石垣の筒にその役にとられちゃうんだよ。俺だって

よるうちに敵にたれちゃうんだよ。俺だって

○へ劇中舞台・公園

聡「やっ」と気がついたんだ。俺と結婚してほし

司咲「へ照れながら）はい」

石垣「木陰から目撃する和雄。歩いて行くのを

石垣「木陰から目撃する和雄。歩いて行くのを

○へ回想 定食屋（夜）

石垣「でもそんな時事態は急変するんだよ」

○へ劇中舞台・公園

聡「ど」は一人軍服を着ている。司咲。

司咲「その寂しい顔しないでくれ。俺はお国

聡「その寂しい顔しないでくれ。俺はお国

和雄「だよ」にお願いします。和雄が

聡「だよ」にお願いします。和雄が

落歩咲を頼んでください。俺の肩をそっと抱く和雄。

○へ回想 定食屋（夜）

怪訝な表情をする喜田。

喜	○	司 和		司 和		司 聡	○	○	男 喜 喜			
だ	和	咲	よ	咲	よ	聡	劇	同	ま	や	田	田
か	雄	「	れ	「	「	さ	劇	・	性	つ	「	「
想	は	離	！	と	と	「	中	観	す	あ	喜	る
い	政	咲	な	の	の	「	話	客	「	た	田	傷
づ	確	ち	い	事	事	「	を	席	タ	あ	「	が
を	か	着	っ	「	「	「	そ	「	フ	、	、	つ
伝	の	！	て	聞	聞	「	ん	夜	1	す	通	の
え	仕	雄	な	の	の	「	さ	「	「	い	ま	顔
ら	事	の	な	に	に	「	な	「	す	ど	せ	う
れ	に	こ	の	た	た	「	「	「	い	「	ん	に
ず	つ	れ	っ	か	か	「	嘘	「	ま	「	「	「
に	い	を	な	の	の	「	な	「	せ	こ	た	ク
い	の	振	ん	さ	さ	「	し	「	ん	こ	ス	ソ
る	か	り	で	「	「	「	て	「	「	の	タ	ッ
°	兵	っ	「	夢	夢	「	す	「	「	す	ラ	「
そ	さ	っ	「	「	「	「	よ	「	「	ぐ	イ	「
れ	れ	て	「	あ	あ	「	ね	「	「	替	ト	「
に	な	走	「	「	「	「	「	「	「	え	割	「
想	か	っ	「	「	「	「	「	「	「	と	れ	「
い	未	出	「	「	「	「	「	「	「	き	ち	「

塚	喜	喜	塚女	塚女	塚	喜	喜	喜	○	喜	○	
田	り	田	田	性	田	田	田	和	同	田	同	に
ー	体	ー	ー	ス	ー	ー	ー	雄	・	て	・	的
う	調	あ	戸	焦	わ	お	タ	は	キ	っ	静	俺
ら	ー	！	惑	っ	か	い	ッ	一	体	ろ	人	は
あ	そ	、	っ	て	り	お	フ	さ	は	。か	家	何
！	う	何	て	辺	まい	2	！	ど	、	もし	事	を
ー	い	か	い	り	せ	。ー	？	と	！	、	を	考
	え	気	る	を	ん	何	今	喜	運	こ	し	え
	ば	づ	喜	見	。が	か	ー	田	命	死	て	て
	石	い	田	る	気	あ	ら	が	の	ん	か	る
	垣	た	。塚	づ	っ	で	ん	フ	目	だ	ら	る
	さ	よ	。田	いた	は	さ	が	集	で	は	が	る
	ん	う	。ら	だ	す	倒	れ	ま	舞	こ	の	と
	、	に	倒	よ	が	ま	し	っ	台	の	。。	知
	楽	立	れ	に	に	く	る	と	上	舞	。。	っ
	屋	ち	て	：	：	る	。。	石	石	台	。	て
	で	上	て	：	：	ら	。	音	を	の	。	い
	あ	が	ー	：	：	。	。	垣	見	生	。	る
	ま	り	ー	ー	ー	。	。	が	る	面	。	最
	、	、	ー	ー	ー	。	。	倒	喜	白	。	の
			ー	ー	ー	。	。	れ	田	垣	。	終
			ー	ー	ー	。	。	て	る	。	。	せ
			ー	ー	ー	。	。		。			て

司	司	○	喜	塚	喜	○	○	喜
咲	咲	同	田	田	田	同	同	田
「	「	・	「	「	「	・	「	「
え	喜	舞	ぬ	お	え	混	消	ぬ
：	葉	台	う	び	塚	乱	え	う
：	の	上	！	喜	？	し	て	！
な	姿	・	「	田	「	た	い	「
ん	を	司	を	を	喜	様	く	喜
で	見	咲	舞	台	田	子	。	田
こ	て	の	台	へ	に	で	。	を
こ	固	家	蹴	り	マ	戻	う	舞
に	ま	の	り	出	フ	っ	よ	台
：	る	家	出	す	ラ	て	う	上
：	。	の	す	。	ー	い	に	へ
？	。	家	喜	。	を	。	し	蹴
「	司	の	田	。	掴	。	て	り
	咲	扉	。	。	ま	喜	。	飛
	。	に	。	。	せ	田	。	ば
		向			る	。		す
		か			。			
		っ			。			
		客			。			
		を						
		追						
		っ						
		て						
		い						
		る						
		客						

奈々「：」花岡「あっ、お、」花岡「！ち花よっ、」花岡「けでん、」奈々「う！お痺れをきもし、」花岡「でさ、」奈々「お祝、」花岡「秋、」奈々「な、」花岡「ソ、」花岡「飽、」花岡「同、」
 ら掛気奈ち花：あ花！ち花かけそ奈う！へ。ねし祝、帰？そ、な、花来ソ、な、飽、花、
 手かかな々よ岡あっ、りお、っ、の、携、の、嘘、は、ら、し、わ、た、ん、だ、か、ら、減、付、き、し、
 紙っく、っ、りお、っ、の、携、の、嘘、は、ら、し、わ、た、ん、だ、か、ら、減、付、き、し、
 のて辺貞待屋をう様の手を払、今、ち、よ、話、ど、中、休、憩、
 端いりを腐、て、出、て、ざ、い、い、く、ま、す、
 が、る、を、見、る、の、が、ソ、フ、ア、に、座、り、何、
 見え岡の、装、の、ポ、ケ、ッ、ト、か、
 〇・花岡の楽屋（夜）
 〇・花岡の楽屋へ向かう花
 〇・花岡の楽屋へ向かう花

塚 塚喜 塚喜 塚 ○ 奈 花 奈 奈 ○
 う 田 か出メ 田田 とたど おっ お 田田 ろど 田 ○
 と ー らし ー ー す 挙愛前 て前 ー ー ! う ー ・
 バ 音 気 て ジ と い る 句 す は き は そ あ ー す 違 喜 演 舞
 レ だ 声 持 や す に や ° 最 る 昔 た や う あ ん え 田 技 台
 る 声 ス ち る る か あ イ 後 司 の ん つ じ : だ よ ! 軍 合 手
 か は タ で か こ く : メ は 咲 愛 だ と や : ! お 服 わ 袖
 ら 石 ツ 喋 ら と あ : ー 理 傷 取 し 思 く ー 前 が 着 て (夜)
 な 垣 フ れ 安 だ と ー ジ 心 つ り か い て ー 前 石 替 える
 ー 寄 喜 ー し 考 分 き 中 け 戻 し 戦 戦 前 出 に 寄 せる 真
 せ 田 ろ え ー る か し し う 争 場 か 身 来 せ る ° 依
 ろ に ° ア ° ヤ ? ー 緒 ° 思 ば を 走 い け う と し °
 よ マ ア ° セ ラ ー 緒 ° 思 ば を 走 い け う と し °
 ? イ ド セ ラ ー 緒 ° 思 ば を 走 い け う と し °
 あ ク リ リ ク ー 緒 ° 思 ば を 走 い け う と し °
 ん を ブ フ タ ー 緒 ° 思 ば を 走 い け う と し °
 ま つ で は ー 緒 ° 思 ば を 走 い け う と し °
 り け い 袖 を ー 緒 ° 思 ば を 走 い け う と し °
 違 る い で イ ー 緒 ° 思 ば を 走 い け う と し °

照 明 が 暗 く な り 喜 田 に ス ポ ッ ト ラ イ ト 。	銃 の 音 が 止 む 喜 田 に ス ポ ッ ト ラ イ ト 。	た か い だ が し や ら に 戦 い 続 け た 。	思 議 な い 世 界 は 何 も な い 。	戦 場 は 壮 絶 だ っ た 。	流 れの ナ レ シ ョ ン が S E と し て 舞 台 に 。	聡 い は れ 周 の 兵 士 に 合 わ せ る よ う に 動 。	喜 田 は れ 倒 れ 兵 士 に 。	撃 た れ 倒 れ 兵 士 に 。	走 る た う ！ 。	ち 兵 士 ！ 。	全 身 靈 ！ 。	伏 せ て い る 。	喜 田 は れ 。	幕 が 上 り 。	ブ グ 開 演 の 舞 台 上 。	中 劇 同 舞 台 上 。	復 雑 な 表 情 で 真 依 子 を 見 る 喜 田 。	真 依 子 。	真 依 子 。	○ 同 。	奈 々 。	○ 同 。	戸 惑 い な が ら 舞 台 裏 へ 移 動 す る 喜 田 。
--	---	---	--	---	--	--	--	---	----------------------------	-----------------------	-----------------------	----------------------------	-----------------------	-----------------------	---	---------------------------------	---	------------------	------------------	-------------	-------------	-------------	---

司	○	榎真塚	○	聡	聡	聡	聡	喜	聡	聡
咲	へ	島依田	同	N	つ	が	は	田	N	N
「	劇	「子」	・	「	「	「	「	「	「	「
ち	中	ま	舞	暗	そ	ラ	喜	だ	大	そ
よ	劇	あ	舞	転	の	「	「	「	「	「
っ	「	一	上	す	場	取	立	「	「	「
と	同	応	の	る	に	り	ち	「	「	「
聡	舞	は	喜	。倒	れ	と	止	「	「	「
さん	台	：	田	込	た	す	ま	「	「	「
飲	上	：	見	む	ど	り	「	「	「	「
み	・	「	つ	喜	り	着	「	「	「	「
すぎ	司	い	め	田	「	「	「	「	「	「
じ	咲	で	る	。い	た	「	「	「	「	「
ゃ	の	す	真	んだ	「	「	「	「	「	「
な	方	「	依	「	「	「	「	「	「	「
い	を	「	子	「	「	「	「	「	「	「
？	向	「	と	「	「	「	「	「	「	「
「	い	「	床	「	「	「	「	「	「	「
	て	「	に							

	榎塚榎	塚榎塚	○	司	和司	和司	和司	和	和	○																												
る	て	幸島	田島	わ田島	田島	同	咲	し	雄	咲	こ	け	俺	チ	警	雄	咲	雄	咲	い	雄	雄	○															
ド	の	せ	ー	ー	ー	け	ー	ー	ー	カ	ー	ど	い	散	和	司	玄	中	劇	劇	劇	劇	劇															
ジ	行	な	恋	今	う	な	あ	お	お	横	舞	舞	落	ち	ん	戦	て	よ	さ	あ	あ	察	ラ	保	日	？	か	丈	う	ら	和	司	玄	中	劇	劇		
な	動	生	人	の	し	い	の	か	か	で	台	台	ち	な	争	き	う	ん	い	い	と	暴	行	れ	て	こ	ろ	に	聴	か	ら	和	司	玄	中	劇	劇	
奴	が	活	を	思	っ	ー	ん	が	い	い	ち	見	手	む	せ	あ	精	な	あ	が	ど	こ	か	て	病	院	送	り	町	で	連	絡	が	あ	っ	て		
で	空	回	手	う	て	ー	な	チ	で	よ	な	く	め	（	咲	っ	い	神	の	な	か	人	た	じ	ん	だ	ろ	？	か	し	ら	た	ら	で	あ	っ	て	
す	回	り	に	あ	ど	ー	ン	す	な	く	め	（	夜	を	か	つ	を	病	か	人	た	じ	ん	だ	ろ	？	か	し	ら	た	ら	で	あ	っ	て	。		
し	入	れ	り	な	キ	ャ	ラ	？	ー	を	病	院	送	り	に	で	き	る	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。
人	に	う	争	か	ラ	？	ー	を	病	院	送	り	に	で	き	る	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。
に	う	争	か	ラ	？	ー	を	病	院	送	り	に	で	き	る	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。
迷	惑	す	ら	？	ー	を	病	院	送	り	に	で	き	る	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。	。
を	る	か	け	、	出	す	し	て	、																													
か	も	け	、	出	す	し	て	、																														
け	、	出	す	し	て	、																																
て	、																																					

和	司	和	○	榎	塚	榎	塚	塚	榎	喜	塚	榎	塚													
何	雄	咲	も	雄	へ	劇	榎	島	も	子	田	エ	は	め	マ	田	島	田	削	田	て	島	が	っ	田	
も	「	「	：	「	劇	「	「	「	満	な	「	ン	つ	ず	シ	「	「	「	る	「	る	「	い	て	「	
和	か	落	司	聞	：	病	司	中	ち	喜	よ	て	喜	ま	足	ん	と	を	喜	ド	い	自	だ	ろ	ン	？
雄	も	ち	咲	「	院	咲	劇	「	よ	田	し	、	田	あ	す	だ	に	持	田	だ	に	殺	ろ	ン	：	「
の	変	着	、	た	へ	の	「	「	、	、	っ	舞	、	：	る	か	か	っ	、	よ	想	す	。	テ	な	：
視	わ	け	和	く	入	肩	同	「	ち	真	じ	台	ポ	：	だ	ら	く	て	舞	「	い	る	。	は	な	と
線	っ	よ	雄	な	れ	を	・	「	よ	剣	や	上	ケ	「	ろ	。こ	諭	台	を	。は	長	精	舞	で	「	
の	ち	！	を	い	て	掴	舞	「	っ	な	あ	の	ッ	「	こ	の	す	上	を	伝	年	神	舞	き	「	
先	や	も	払	！	隔	ん	台	「	と	表	聡	司	ト	「	の	舞	う	見	二	人	は	を	ん	？	「	
に	っ	う	い	も	離	で	上	「	！	情	は	咲	の	「	二	台	う	に	人	は	を	ん	？	「		
喜	た	昔	の	う	し	話	・	「	で	死	を	中	の	「	が	主	話	と	人	は	を	ん	？	「		
田	ん	と	け	出	た	す	司	「	舞	ん	見	の	手	「	く	演	し	和	が	は	を	ん	？	「		
の	だ	は	る	っ	方	和	咲	「	台	だ	っ	手	紙	「	っ	は	て	雄	は	を	ん	？	「	「		
姿	。違	。っ	て	「	が	雄	の	「	上	こ	め	紙	を	「	つ	花	い	が	は	を	ん	？	「	「		
。お	う	ん	よ	「	聡	の	家	「	へ	と	る	握	「	出	に	。握	り	し	め	ハ	い	た	溶	け	よ	
前	ん	だ	！	「	の	た	め	「	い	「	し	め	「	て	：	り	し	め	ッ	た	和	溶	け	よ		
「	よ	！	「	「	た	め	か	「	く	「	め	「	「	い	「	く	「	「	ピ	「	雄	込	り	「	「	

喜和喜 和 喜和 喜和喜 和 ○ 塚 榎 ○ 喜 喜司
 田雄田 を雄 続田雄 けし田雄田 だ雄 ○ 田言台島 同 ずだん田 す田 咲
 「 「 「 傍 「 け 「 「 をよ 「 「 「 ろ 「 劇 「 つ本 「 ・ 「 かで 「 か 「 「
 状と喜 あへ俺 でそ る俺 な 想！ 和は和 ° 聡 和喜 中 ○ 舞 冷 舞 喜 喜司
 況舞田 ； 困は 支れ っは んい？ 雄？ 雄だ ` 雄 ° 雄田 劇 塚 田 静 台 司 司
 が台 ` ； 惑司 えは てこの 続で だ 「 だか お ° 雄田 劇 塚 田 静 台 司 司
 摺下我 ごし 咲て俺 約れ 話け もつ っら 前は て・ 困舞 惑し 上 舞 舞
 め手に めて をき だ束 か する こと て 今 日は 困舞 惑し 上 舞 舞
 て袖返 んゝ 裏 た っで らて 事れ 司 そ 日は よ 困舞 惑し 上 舞 舞
 いへっ な ； 切ん て き も んは ま 咲 う は 一 っ 且 と 司 司
 なは た さ ； っ だ 一 る ず だ で の で 一 っ 且 と 司 司
 いけ よ い お た 「 緒 ！ っ よ き も こ し 且 と 司 司
 様 て う 「 前 こ だ 「 と 「 る こと を ! っ 且 と 司 司
 子の く し 言 っ ン ず っ と 司 咲 だ け っ 司 司
 司 ° て っ ン ず っ と 司 咲 だ け っ 司 司
 咲 ° そ そ ン だ い 司 咲 だ け っ 司 司
 く だ よ ! 司 咲 だ け っ 司 司
 さ だ よ ! 司 咲 だ け っ 司 司

	塚		塚		塚		塚		塚		○		
	る書田		は田		優ら田		う合田		と田		〇		
	「だの		聡の		しれの		「いの		思の		〇		
子	と声読刑	る刑	う自和の	る	う部く	な	咲聡た	が銃	に声隅	司聡	つ声聡	散想	す場
の	認「む事	。事	に分雄	の	な屋抱	い	を、見	が銃	「に	「咲	「た	「ら	る面
司	識そ。は	が	のラ倒	ま	だの	し	自分	を	「に	「司	「こ	「司	。は
咲	さし	聡	のラ倒	なく	れ状	め	のの	奪	「が	「怯	「は	「の	「稽
。	れて	の	懐	たく	て態	る	血	つ	「反	銃	「詰	「え	「古
の	、和	懐	にレ	と刑	いを	「	を	あ	動	を	「め	「る	「場
内	自雄	から	来入	と説	る見	司	倒	ま	で	突	「ら	「う	の
容	のラ	ラ	和る	が	司	咲	れ	し	司	き	「る	「に	回
を	を証	ブレ	雄。司	や	咲	を	雄	っ	咲	「け	。後	「ず	想
聞	明す	タ	に事	っ	優	然	が	た	は	「た	「ず	「さ	へ
い	るは	「を	事情	て	し	と	現	こ	「	「時	「さ	「り	オ
て	の聡	「を	聴衆	来	く	す	れ	と	「	「二	「し	「部	ー
感	の遺	「見	をす	、	抱	和	、	司	「	「人	「し	「部	バ
動	とな	「し	す	、	き	雄	司	咲	「	「は	「意	「す	ー
す					し	め	信	を	「	「も	「る	「ま	ラ
る					め		じ	を	「	「み	「う		ッ
様									「	「の	「う		プ

花女	花岡	花岡	○同	榎島	塚田	榎島	塚田	榎島	塚田	榎島	塚田	○同	塚田
「ス	「	「	・	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「
な	な	な	混	は	純	そ	じ	い	い	思	気	島	抱
に	に	に	乱	「	愛	う	や	「	「	わ	は	「	擁
！	！	！	す	「	に	あ	と	「	「	は	あ	「	し
ど	ど	ど	上	「	は	り	あ	「	「	ら	ま	「	悲
う	う	う	手	「	分	か	主	「	「	も	ず	「	し
し	し	し	袖	「	か	す	最	「	「	こ	今	「	み
た	た	た	（	「	り	ね	か	「	「	ち	の	「	な
？	？	？	夜	「	や	「	の	「	「	と	聡	「	合
「	「	「	）	「	す	「	た	「	「	ま	に	「	が
！	！	！	。	「	い	「	キ	「	「	し	無	「	つ
あ	あ	あ	。	「	悪	「	ユ	「	「	っ	そ	「	て
の	の	の	。	「	役	「	メ	「	「	た	理	「	な
：	：	：	。	「	が	「	で	「	「	が	心	「	く
：	：	：	。	「	必	「	ン	「	「	、	中	「	動
「	「	「	。	「	要	「	友	「	「	あ	あ	「	し
			。	「	だ	「	情	「	「	ま	中	「	な
			。	「	よ	「	タ	「	「	り	を	「	く
			。	「		「	タ	「	「	戸	す	「	な
			。	「		「	タ	「	「	あ	の	「	く
			。	「		「	タ	「	「	ま	裏	「	な
			。	「		「	タ	「	「	り	切	「	な
			。	「		「	タ	「	「	戸	り	「	な
			。	「		「	タ	「	「	良	を	「	な
			。	「		「	タ	「	「	惑	狂	「	な

榎花 塚花 ○	喜司喜司 ○	花 ○	塚喜 塚
達島岡い田か岡 同	田ら咲田咲 劇	岡 同	いと望う田田てす田
にが「「？「！「	「な「「「	「 同	たんやこ「「ま「
恋、和冗一ど「ち付花舞	何：いもい知考中	裏男俺岡舞舞	困袖塚しで未とそ和いそ細
人な雄談回う「よけ岡台	を：ようやっえ劇	へ性が戦台上上	惑には、すなを三宅すそす
をかはじくいうとを塚外田袖	言「、、：たんで・	回スタ死報告を偽装	てけ喜「やつたとを待告を：
取か学やらないこと督しのもへ	つ「うん「の？いる様子の喜田と司咲	てツ報告を偽装した！？畜生！	いて田にウインクをして舞台下手
れ想時代をかすよな：たいんじやな	い「か分「からなく二人	いフの制止を振り切り？畜生！	るいくのウインクをして舞台下手
ていをかすよな：たいんじやな	い「か分「からなく二人	くの花岡を振り切り？畜生！	様子の喜田と司咲
しま伝ら司！「たいんじやな	い「か分「からなく二人	花岡を振り切り？畜生！	子の喜田と司咲
たら咲を「たいんじやな	い「か分「からなく二人	花岡を振り切り？畜生！	の喜田と司咲
和れな想「たいんじやな	い「か分「からなく二人	花岡を振り切り？畜生！	と司咲
はいっ「たいんじやな	い「か分「からなく二人	花岡を振り切り？畜生！	と司咲
「挙ていた	い「か分「からなく二人	花岡を振り切り？畜生！	と司咲
つ句いた	い「か分「からなく二人	花岡を振り切り？畜生！	と司咲
い友いた	い「か分「からなく二人	花岡を振り切り？畜生！	と司咲

喜	喜和	喜	和	喜	和	司	和司	和		○	花	花	塚	花	塚																			
い	田	田	雄	か	司	告	田	ろ	雄	い	田	ん	し	雄	偽	咲	た	雄	咲	ん	雄		花	花	塚	花	塚							
よ	―	―	―	！	咲	で	―	！	―	つ	―	だ	て	―	装	―	か	―	―	だ	―	○	花	花	塚	花	塚		に					
う	僕	面	でお	？	をし	関	―	う	て	ウ	。何	っ	つ	れ	、	報	や	ん	な	焦	入	の	咲	を	話	も	劇	中	劇	と	聡			
に	は	決	く	本	調	お	！	大	せ	え	だ	も	て	と	た	な	告	：	の	？	る	っ	瞬	、	た	な	劇	同	同	同	同	存		
し	よ	め	さ	当	子	と	和	り	よ	ん	本	い	い	：	と	で	を	た	と	か	う	く	、	を	く	く	舞	舞	舞	舞	舞	消		
う	た	そ	う	し	ん	た	は	す	よ	ん	前	す	に	と	の	知	雄	し	俺	、	司	が	に	び	っ	い	司	咲	の	部	屋	消		
っ	ん	で	に	よ	な	た	ん	僕	よ	ん	前	す	に	と	の	知	雄	し	俺	、	司	が	に	び	っ	い	司	咲	の	部	屋	消		
て	で	す	す	？	よ	ん	僕	よ	ん	前	す	に	と	の	知	雄	し	俺	、	司	が	に	び	っ	い	司	咲	の	部	屋	消			
―	。お	も	和	雄	な	ん	で	す	か	？	―	。	ま	し	は	軍	事	る	が	け	の	戦	な	死	の	誤	報	が	来	な	う			
も	う	雄	な	ん	で	す	か	？	―	。	ま	し	は	軍	事	る	が	け	の	戦	な	死	の	誤	報	が	来	な	う					
う	司	咲	を	失	わ	な																												

花 真 花 真 ○
 ろ 岡 か 依 た 岡 現 依 同
 ? 「 ン 子 だ 「 実 子 ・
 「 俺 な 「 の 「 の 「 真 舞
 だ い も 演 戸 こ ち 依 台
 よ ! う 出 惑 と よ 子 上
 ° 誰 、 だ う を つ 、 手
 俺 を 何 が 「 う つ あ つ (袖
 を 信 用 だ う 〓 る ど 様)
 用 す れ な そ の う 子 で
 ば い て な ? う 、
 い の の け な い だ ろ も
 ° ! か 全 然 わ
 彼 ? 「 然 だ

石 〇
 ろ 雄 垣 〇
 う と の 〓 劇
 つ は 声 の 下 驚 中
 て 別 「 心 手 く 劇
 「 れ そ の 袖 よ 〓 同
 、 だ を は に ・
 俺 、 し 石 舞 舞
 と 伝 て 垣 が 下 上
 一 え い マ 手 ・
 緒 よ る ° イ 袖 司
 に う ° ク を 見 の
 幸 ° 浮 に 向 喜
 せ 気 向 か 喜
 な し っ 田 °
 生 て っ °
 活 る 〓 聡
 作 和 聡

〇 同 ・
 注 真 舞
 目 依 台
 す 子 上
 る 、 手
 ° 舞 袖
 台 (夜)
 の 声 に
 反 応 し
 舞 台 上
 を

石 石 〇
 垣 垣 〓 劇
 の の 座 中
 ハ 声 照 座 中
 ツ 「 明 つ 劇
 と そ が た 〓 同
 顔 れ 薄 ま ・
 を で 暗 ま 舞
 は あ い い 俯 舞
 正 げ い 青 い 台 上
 直 る の に て 上
 な 喜 か 変 い ・
 こ 田 聡 わ る 喜 咲
 と ° 「 〓 田 ° 家
 を 言 え ない
 ! ° 浮 ない
 「 し ん

石 塚 榎
 垣 だ 田 ち に 島
 の な 「 や 〓 「
 声 、 ど え こ 戦 腕
 の 「 今 う ば い 死 を
 方 汚 回 や い つ 報 組
 を れ の ら い は 告 ん
 振 役 聡 自 の 浮 作 で
 り な は 分 に 気 戦 考
 向 ら 「 の 「 し 弱 え
 く 僕 手 て か 込
 塚 が は る っ ン
 田 で 汚 ん た で
 と き せ ない だ だ いる
 榎 ま ない ! す る
 島 ° よ 〓 と ね 田 °
 「 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓
 と 〓 〓 〓 〓 〓 〓 〓

○		喜	○	○	喜	司喜司喜	司喜	司	○			
同	つまろはら田	〓	劇	同	き田	いてく	咲田	の	咲田	裏	〓	劇
・	いせん全	で	誰	・	だ	つるれ	〓	は	〓	切	〓	〓
客	てん	！	よ	舞	か	の	何	本	私	ね	喜	中
席	し	掴	そ	台	ら	〓	雄	当	と	り	田	劇
(ま	み	も	上	の	遮	は	秘	和	つ	〓	〓
夜	で	こ	〓	手	で	る	？	こ	雄	て	の	〓
)	う	〓	〓	袖	す	よ	何	と	が	ど	も	同
	い	〓	〓	(え	う	に	一	〓	う	〓	・
	ら	〓	〓	夜	に	に	何	理	〓	〓	〓	舞
	司	〓	〓)	驚	〓	で	由	か	〓	〓	台
	咲	〓	〓		く	僕	一	が	あ	〓	〓	上
	〓	〓	〓		様	が	緒	あ	ら	〓	〓	〓
	防	〓	〓		子	あ	に	る	の	〓	〓	〓
	ぎ	〓	〓		の	な	な	い	？	〓	〓	〓
	ま	〓	〓		司	た	ら	〓	〓	〓	〓	〓
	で	〓	〓		咲	の	な	〓	〓	〓	〓	〓
	たい	〓	〓		〓	こ	い	〓	〓	〓	〓	〓
	い	〓	〓		〓	と	〓	〓	〓	〓	〓	〓
	ん	〓	〓		〓	を	〓	〓	〓	〓	〓	〓
	で	〓	〓		〓	好	〓	〓	〓	〓	〓	〓
	す	〓	〓		〓	〓	〓	〓	〓	〓	〓	〓
	〓	〓	〓		〓	〓	〓	〓	〓	〓	〓	〓
	傷	〓	〓		〓	〓	〓	〓	〓	〓	〓	〓
	り	〓	〓		〓	〓	〓	〓	〓	〓	〓	〓
	ち	〓	〓		〓	〓	〓	〓	〓	〓	〓	〓
	僕	〓	〓		〓	〓	〓	〓	〓	〓	〓	〓
	か	〓	〓		〓	〓	〓	〓	〓	〓	〓	〓

喜塚	○	奈	○	和司	和司	和司	和司	和司	和司	○
田田	同	々	同	雄咲	雄咲	雄咲	雄咲	雄咲	雄	へ劇
「「	・	「	・	「	「	「	「	「	「	「
えあ喜落冷舞	舞	奈ほ奈客	客	司聡よへ司	司聡よへ司	司聡よへ司	司聡よへ司	司聡よへ司	司聡よへ司	中劇
、と田。着に下	台	々んと、舞	席	は咲、入、さ、少	は咲、入、さ、少	は咲、入、さ、少	は咲、入、さ、少	は咲、入、さ、少	は咲、入、さ、少	、
そ一息だんな	手袖	同意するよう	（夜）	を閉めて花岡	を閉めて花岡	を閉めて花岡	を閉めて花岡	を閉めて花岡	を閉めて花岡	、
な「	（夜）	うもなら怒	）	とら鍵一面緒	とら鍵一面緒	とら鍵一面緒	とら鍵一面緒	とら鍵一面緒	とら鍵一面緒	、
すか？	見	い男だわ初老	、	に上	に上	に上	に上	に上	に上	、
「	る	の初老	、	手袖	手袖	手袖	手袖	手袖	手袖	、
	。	。	、	「	「	「	「	「	「	、

○	喜	和						和	喜		和	喜	○	○		和	喜	和	
同	田	い	雄					雄	田	じ	整	ろ	つ	雄	田	へ	劇	中	
・	「	だ	「					「	「	や	理	う	て	「	「	劇	中	劇	
喜	暗	手	喜	は	ろ	あ	真	ど	つ	喜	つ	こ	ず	わ	惑	て	雄	「	喜
舞	転	袖	田	あ	う	い	依	う	め	田	の	ま	と	た	た	お	喜	「	田
台	す	に	「	：	°	つ	子	し	る	、	の	ま	と	は	さ	少	い	な	「
下	る	舞	花	：	ま	は	°	て	°	哀	幸	ま	一	っ	し	だ	の	の	「
手	舞	台	束	「	た	し	い	し	そ	な	と	俺	緒	た	°	環	持	手	：
袖	上	°	を	持	っ	ら	か	い	う	ん	一	と	い	い	も	が	も	に	「
に	°	た	持	っ	て	く	分	に	だ	緒	て	う	、	変	わ	か	る	真	「
戻	°	ま	ま	と	ら	と	戸	感	う	様	子	の	真	依	子	を	見	「	「
っ	°	ま	ま	と	ら	と	戸	感	う	様	子	の	真	依	子	を	見	「	「
て	°	ま	ま	と	ら	と	戸	感	う	様	子	の	真	依	子	を	見	「	「
く	°	ま	ま	と	ら	と	戸	感	う	様	子	の	真	依	子	を	見	「	「
る	°	ま	ま	と	ら	と	戸	感	う	様	子	の	真	依	子	を	見	「	「
。	°	ま	ま	と	ら	と	戸	感	う	様	子	の	真	依	子	を	見	「	「

	○	塚	榎	塚	榎	塚	榎	塚	○		○	塚	榎	喜	塚	喜	榎	塚							
	同	田	の	島	だ	田	オ	島	田	同	劇	田	は	そ	島	田	た	田	田	は	敵	島	田		
	・	「	戦	「	！	「	「	「	「	・	中	「	結	し	「	「	ら	「	「	盛	の	「	「		
合	戸	指	イ	音						喜	無	中	中	そ	ば	た	探	お	ど	ど	和	い	あ		
わ	惑	示	ン	響						田	音	劇	を	う	れ	聡	だ	し	前	う	う	上	や	の	
せ	う	が	カ	ブ						。で	あ	同	押	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	
て	よ	何	ム	「						あ	て	・	す	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	
、	う	が	を	ス						て	も	舞	。田	こ	こ	咲	も	く	咲	し	し	ま	試	か	
に	な	し	「	夜						も	舞	台	を	と	れ	は	な	つ	を	よ	よ	せ	練	な	
隣	の	だ	音	響						なく	上	・	舞	だ	し	奇	く	て	探	う	う	ん	か	や	
ア	か	響								さ	ま	道	台	「	か	跡	探	ど	し	こ	に	や	「	が	
シ	分	ス	タ	ツ						ま	よ		に	い	な	の	し	こ	に	い	ね	「	「	い	
ス	タ	ら	ッ	フ						よ	い		押	け	い	再	続	に	い	ね	「	「	と	働	
ン	な	い	は	塚						い	続		しい	で	会	け	「	「	「	「	「	「	「	「	た
ト	い	様	塚	田						け	て		出	す	「	果	ん	「	「	「	「	「	「	「	「
と	様	子	田	の						い	る		す	「	「	た	し	す	よ	「	「	「	「	「	「
目	を	。の								る			よう	「	「	二	人	。の	「	「	「	「	「	「	「
を										い			に	背											

音響スタッフ「：：はい」

○同・舞台下手袖（夜）

榎島「と榎島。場所をはずして目を合わせる塚田

榎島「最初に告白した公園だ。今の場所」

塚田「はい。でも変わ

らな。思い。でも戦いが終わったんです」

塚田「そうだな。改めて告白するんです」

塚田「後ろにいた町人役に気づいて、

町人「お、町人？ 行け、行け、行け」

塚田「お、町人？ 行け、行け、行け」

見「歩いて、歩いて、歩いて」

榎島「な。いる。聡。それ。表現するんです」

塚田「な。いる。聡。それ。表現するんです」

塚田「な。いる。聡。それ。表現するんです」

塚田「な。いる。聡。それ。表現するんです」

塚田「な。いる。聡。それ。表現するんです」

塚田「な。いる。聡。それ。表現するんです」

塚田「な。いる。聡。それ。表現するんです」

塚田「な。いる。聡。それ。表現するんです」

塚田「な。いる。聡。それ。表現するんです」

塚田「な。いる。聡。それ。表現するんです」

塚田「な。いる。聡。それ。表現するんです」

塚田「な。いる。聡。それ。表現するんです」

塚田「な。いる。聡。それ。表現するんです」

塚田「な。いる。聡。それ。表現するんです」

塚田「な。いる。聡。それ。表現するんです」

塚田「な。いる。聡。それ。表現するんです」

塚田「な。いる。聡。それ。表現するんです」

塚田「な。いる。聡。それ。表現するんです」

塚田「な。いる。聡。それ。表現するんです」

塚田「な。いる。聡。それ。表現するんです」

塚田「な。いる。聡。それ。表現するんです」

塚田「な。いる。聡。それ。表現するんです」

塚田「な。いる。聡。それ。表現するんです」

塚田「な。いる。聡。それ。表現するんです」

塚田「な。いる。聡。それ。表現するんです」

塚田「な。いる。聡。それ。表現するんです」

塚田「な。いる。聡。それ。表現するんです」

塚田「な。いる。聡。それ。表現するんです」

○同・楽屋口通路（夜）

真依子「お前の花岡さん、腕をつかまされる。探して
ちよいく。依子を強引に舞台裏へ引っ張
つてい。依子を強引に舞台裏へ引っ張
花岡さん、腕をつかまされる。探して
やない！ 依子を強引に舞台裏へ引っ張
る。お前の花岡さん、腕をつかまされる。探して

○同・舞台上下手袖（夜）

塚田「な。いる。聡。それ。表現するんです」

塚田「な。いる。聡。それ。表現するんです」

塚田「な。いる。聡。それ。表現するんです」

塚田「な。いる。聡。それ。表現するんです」

塚田「な。いる。聡。それ。表現するんです」

塚田「な。いる。聡。それ。表現するんです」

塚田「な。いる。聡。それ。表現するんです」

塚田「な。いる。聡。それ。表現するんです」

塚田「な。いる。聡。それ。表現するんです」

塚田「な。いる。聡。それ。表現するんです」

塚田「な。いる。聡。それ。表現するんです」

塚田「な。いる。聡。それ。表現するんです」

塚田「な。いる。聡。それ。表現するんです」

塚田「な。いる。聡。それ。表現するんです」

塚田「な。いる。聡。それ。表現するんです」

○	榎塚	女塚	石	○	真	花	真	花真	
同	島田	性田	た垣	同	依	んう岡	こ勝依	こし岡依	
・	「」	ス「	く「	・	子	だあ「	行手に「	れま「子	
よ	塚もあ	タな女	どレ石	舞舞	花	よが	くに	「かっ	依花
う	田うの	ツに性	レ垣が	舞舞	岡を	こい	のシ	「たい	子岡
に	、流野	フ！ス	レ垣が	舞舞	、叩	うか	！ナ	「はん	に
扉	憤	「？タ	レ垣が	舞舞	鋭	と。	花？	「俺	引
を	るに	は真	レ垣が	舞舞	い真	、お	「オ	「が	っ
背	よ間	い依	レ垣が	舞舞	表依	そ前	の楽	「来	と
に	うが	子2所	レ垣が	舞舞	情	のは	シ俺	「も	離
し	にも	は話	レ垣が	舞舞	で	ナ婚	の前	「う。	て
て	舞ち	ねす	レ垣が	舞舞	舞	リ約	まで	「お	よ
座	台裏	え塚	レ垣が	舞舞	台へ	オは	者だ	「は	「
り	へん	「？	レ垣が	舞舞	戻	変	だ。	「遠	「
開	回	「真	レ垣が	舞舞	っ	わ	誰	「く	「
込	っ	「ど	レ垣が	舞舞	け	ら	が	「だ	「
む	！	「	レ垣が	舞舞	て	な	ど	「よ	「
ず	「	「	レ垣が	舞舞	い	が	ど	「	「
真	「	「	レ垣が	舞舞	く	い	ど	「	「
依	い	「	レ垣が	舞舞	。	く	ど	「	「
子	く	「	レ垣が	舞舞	。	。	ど	「	「
。	。	「	レ垣が	舞舞	。	。	ど	「	「

○	喜	刑	司	和	司	刑	司	刑	司	刑	和	和												
同	田	願	事	て	咲	ろ	雄	へ	く	に	ん	ヒ	た	咲	事	す	咲	事	咲	事	ク	雄	し	雄
・	「	い	役	行	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「
か	息	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「
上	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「
舞	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「
台	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「
上	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「
手	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「
袖	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「
に	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「
手	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「
袖	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「
(「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「
夜	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「
)	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「
き	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「
た	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「
花	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「
岡	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「
に	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「
対	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「
し	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「
て	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「
は	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「
に	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「	「

○同・舞台下手袖（夜）
安心した表情で舞台をみる榎島。

○同・客席（夜）
悲しそうな表情をしている奈々と隣の初老。

○へ劇中劇～同・舞台上・公園
苦しそうな表情の喜田。
少しずつ照明が暗くなっていく。
客席からパラパラと拍手が聞こえてくる。

喜田「ゴホッ！」
我慢できず思わず咳き込む喜田。

司咲「生きてたのね聡さん！」
と司咲。「ようなる照明。目が合っ
てしまいう喜田
急に明るくなる照明。
びっくりする司咲。
我慢で思わず咳き込む喜田。
客席から一斉に拍手が沸き起こる。
幕が降りてくる。

○同・客席（夜）
一緒に立ち上がって拍手をする奈々と隣の初老。
スタンディングオベーションが起こる。

○同・舞台上
幕が完全に降りて一緒に笑いあう喜田
と真依子。
上下袖から嬉しそうに榎島が出てくる。
上手袖から拍手をしながら塚田が出てくる。
くする。次々に舞台上に集まる。
スタツフたち。
しみた！「笑顔ではしゃぐ喜田と真依子と

喜真喜	真	○	真喜真	喜	花	奈	花	花	○
入田依田	紙依	自	依田依	田	岡	係々	つ岡	岡	劇
れ「子「	「子	動	「子「	「	「	は「	て「	「	場
た知「えを真「	「「ベ	販	「え「	「	「	「	「	「	外
んりい？見依	ねン	売	「へ「	「	「	「	「	「	・
でまつ「せ子	えチ	機	は美糖	「	「	「	「	「	駐
すせか「る、	。嬉	前	に味と	「	「	「	「	「	車
よん私	し	の	かしミ	「	「	「	「	「	場
「よに	そう	ベン	かイル	「	「	「	「	「	(夜
。渡	に	チ	でんク	「	「	「	「	「)
和そ	喜	(夜	「で多	「	「	「	「	「	積
雄うと	田)	飲すめ	「	「	「	「	「	み
が勝し	の		かにし	「	「	「	「	「	込
手てた	ラ		「で？	「	「	「	「	「	む
にたの	ブレ		「みて	「	「	「	「	「	喜
僕の？	タ		「てよ	「	「	「	「	「	田
服「	「		「	「	「	「	「	「	に
に	「		「	「	「	「	「	「	。肩
									を
									たた
									か

真 喜 真 真 喜 真 喜 真 喜 真 喜 真 喜 真 喜 真
 き 依 て 田 多 依 依 田 依 る 田 わ 依 田 依 て 田 の 依
 な 子 ま ー め 子 子 ー 子 よ ー つ 子 ー 子 ず ー ? 子
 や い 甘 ん ー す ほ じ ー 真 笑 ー そ ー う は て ー ま ー は っ い ー
 か た い だ ほ ね ん や ほ 依 い そ う え 頑 は く け だ 私 に と や ー
 に 初 コ つ ら ー と ん ら 見 ー 子 あ こ で 、 張 ° る ど ま 楽 か 持 、
 会 老 ー ヒ ー だ ° ー て 自 二 コ よ ー デ く 子 だ 絶 対 先 み 真 て い き
 積 ° ヒ ー ー か 砂 ! 動 人 ネ ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー
 を 喜 ー
 し 田 を 買 ん な 甘 い コ ー ヒ ー 好
 て と 真 つ て いた の は 客 席 に
 去 依 子 を 見 て 、 客 席 に
 つ 依 子 を 見 て 、 客 席 に
 て 子 を 見 て 、 客 席 に
 い 子 を 見 て 、 客 席 に
 く 子 を 見 て 、 客 席 に
 ° 子 を 見 て 、 客 席 に
 終 子 を 見 て 、 客 席 に